

46

今こそ真摯に金型に向き合う

MKK 松田金型工業株式会社

TEL.03-3800-3531 FAX.03-3800-3539

URL <https://www.matsuda-kanagata.co.jp/>松田 雄一
代表取締役

代表者：代表取締役 松田 雄一
所在地：〒116-0011 荒川区西尾久5-19-1
資本金：1,000万円
従業員：8人

創業年：昭和10年
業種：金属加工機械製造業
事業内容：プラスチック成形用金型の設計・製作

技術開発を刻む社歴と体制

昭和10年にベークライトの金型製造で創業。この頃は、まだ金型メーカの知名度は低いものの、顧客から製品の図面を渡されると、型の製図作業や図面作成を金型メーカに委ねられ、手書きでこの作業を行う時代で、この能力が金型の精度を左右する重要な過程だった。以降20年ごとに、「大量生産の基盤拡大」、「需要増加による合理化展開」、「激動時代の加工技術の進化」、「新産業の創生と構造改革」というように時代の流れに応じて進化を遂げ、プラスチック用金型に特化して専門技術を磨き、「他社にはできない金型づくり」を実践し、産業用部品やIT部品、自動車用部品などの高度で多種多様な金型を作り続けてきた。その数は2,000種類を優に超える。

他社に先駆けて社内に3次元CAD/CAMを駆使した企画・設計体制を整え、本社工場に高速マシニングセンターや放電加工機、NC機など最新設備を導入して、技術の高度化に励み、顧客ニーズに応える製品づくりを行っている。

反響を呼ぶ！「ターボファン一体成形用金型」

接着でくっつけたプラスチック製シロッコファンが海外で多用されていた平成15年頃、その接着が取れる問題が多発し、顧客企業から「一体成形で作れないか」という相談に対し、難しいからと断りを入れたにも関わらず何度も要請されたことがきっかけで、金型の構造体の研究に着手。自社努力で課題をクリアして一体成形用金型を開発した。

さらにMACCコーディネータの支援を受け、戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）に採択されると、高機能ターボファン成形用金型の開発を開始した。

高機能をもたらすターボファンは、複雑形状が求められ、成形時に成形品から金型を離型させる技術が非常に難しく、従来は2つの金型を必要としたが、当社では油圧シリンダーを活用して放射状にスライドする方式を採用することで、複雑形状で羽の枚数が多い高機能ターボファンを一体成形する金型を生み出した。

その後もイノベーションを図り、従来にないスライド型構造を開発し、ギアドモーターを使用し、射出成形機内で金型の離型時にスライドが多次元の移動をする、多段階スライドを駆使した金型が誕生した。この金型は、生産性の飛躍的向上をもたらし、成形品である高機能ターボファンは、高風圧・高風量が得られるうえ、小型化、消音化でき、省エネ効果も高いため、空調機、自動車、パソコン、家電製品、農業器具など様々な製品に組み込まれている。

イノベーションで、プラスチック用金型の新領域を拓く

区がMACCプロジェクトを推進し、平成18年のスタート時から参画。率先して産学官連携に取り組み、平成22年に東京都立大学（旧 首都大学東京）・健康福祉学部の伊藤祐子教授と共同で、発達障がい児の発達を促す遊具「トゥインクリンク」を開発。全国の障がい者施設や個人から注文が届いていたが、令和7年生産を終了した。

金型の道を歩んで90年。使用目的によりその構造やサイズも変わる上、年々複雑形状化した金型が求められ、顧客ニーズを満たすべく、各種各様の手法を取り入れながら、積み重ねた経験と技術を活かし、業界をリードする金型づくりに日夜挑戦し続けている。

知財戦略にも力を入れ、国内はもとより、米国やアジア諸国の特許も取得し、発明の保護を図っている。



展示会で新製品・新技術をアピール！

高機能ターボファンの金型

法人化60周年超のアットホームで一致団結した社風

- 士気を奮い立たせるために社内でも共有している言葉—
- 一、クライアントやユーザーからの企画・創案に積極的に対応すること
 - 一、困窮案件に遭遇した時は逃げ済み英知を絞りだすこと
 - 一、受注を待つだけでなく、現状より一歩前に出ることが必須である
 - 一、自己の職業以外からヒントを得たときは自己の行為に取り入れること
 - 一、在来習慣から避けたいときほど、新しいものが創出されることがよくある

④主な保有設備

高速マシニングセンター、放電加工機、ワイヤーカット機、NCフライス盤など工作機械、CAD/CAMなど多数

④主な認証・実績等

- ・「第25回素材産業技術表彰」経済産業省製造産業局長賞受賞
- ・特許：「樹脂製ファンの製造・装置」（日本、米国、中国、タイ）
- ・「第3回荒川区新製品・新技術大賞」最優秀賞受賞 他